

No.656 (改題616号)
2024年
11月27日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

県知事選は衝撃的な結末
不信任・失職の前知事が再選

【兵庫県知事選開票結果】

Table with 4 columns: Candidate Name, Party, Status, and Votes. Includes candidates like 齋藤元彦, 稲村和美, 清水貴之, etc.

いなむら和美さん 無念

県議会が全会一致で不信任決議を可決し知事が失職したことに伴う兵庫県知事選挙は11月17日投票された。選挙には過去最多の7人が立候補。...



「対話と信頼で改革を実現」と訴えたいいなむら和美さん=11月16日、神戸市・中央区

「齋藤前知事はむしろ被害者だ」などのネット世論が形成され、加勢していった。逆に百条委員会や議会、さらには「真実を伝えてほしい」と既存のメディアまでもが批判・不信の対象になり、...

北区でウクライナ写真展

憲法を生かす北区の会が主催

憲法を生かす北区の会が毎年行っている写真展。今年は「ウクライナ写真展」を11月8日、12日、...

それにしても異例の選挙であった。全会一致で不信任をつきつけられての立候補も異例だが、その候補が選挙戦を制したのも異例だ。...

憲法を生かす北区の会が毎年行っている写真展。今年は「ウクライナ写真展」を11月8日、12日、...

ひょうご (157) 描き歩き



五色塚古墳

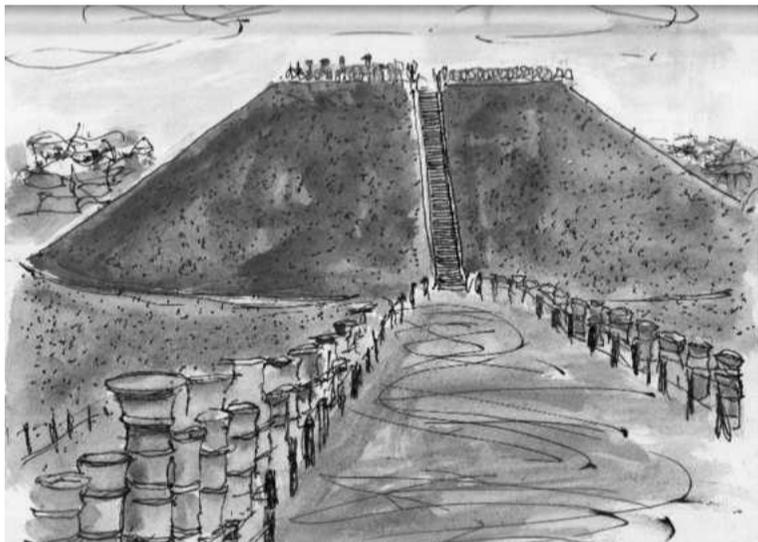
(神戸市垂水区)

山陽電車・霞ヶ丘駅で降り、線路に沿って東に延びる遊歩道を案内表示で進むと、5分ばかりで五色塚古墳が目前に現れる。...

50段ほどの石段を上がって墳頂に立つと、すぐ南に明石海峡大橋の先に淡路島が望め、東西と北には垂水の住宅地が広がっている。...

山陽電車・霞ヶ丘駅で降り、線路に沿って東に延びる遊歩道を案内表示で進むと、5分ばかりで五色塚古墳が目前に現れる。...

50段ほどの石段を上がって墳頂に立つと、すぐ南に明石海峡大橋の先に淡路島が望め、東西と北には垂水の住宅地が広がっている。...



(嶋谷)

憲法を生かす北区の会が毎年行っている写真展。今年は「ウクライナ写真展」を11月8日、12日、...



フリージャーナリストの玉本英子さんのギャラリートークも行われたウクライナ写真展=11月9日、神戸電鉄・鈴蘭台駅ビル内すずらん広場

水脈

アメリカ大統領選挙は、懸念されている。...

アメリカ大統領選挙は、懸念されている。同時に進められた上院の改選(1/3の議席)と下院選の結果はいずれも共和党が多数を占め、アメリカ政治は「トリプル・レッド」に染まってしまった。...

マイナ保険証問題で学習会

憲法あしやの会が開く

憲法あしやの会の主催による学習交流会が11月2日、芦屋市民センターで開かれた。テーマは「どうなる？ どうする？ マイナ保険証」で、参加希望者から事前質問が寄せられるなど関心の高さを感した。

講師の佐野修吉さん（憲法を生かす会・西神戸連絡会事務局長）に、

12月2日から何がかわるのかなどの質問を伝え、講師からは、現行保険証（有効期限内）でも、新規発行される資格確認書（申請をすなくても届く）でも、従来と変わることなく受診できることなどを答えて返ってきた。

一方で、マイナ保険証はマイナンバーカードの取得や更新の手続きが必要



佐野修吉さんが講師の学習会

をしたい人への情報が極めて少ないことなど、予定の閉会時間を過ぎても質問が続き、この問題をさらに市民に広げていくことの必要性が確認された。（前田）

女性支援法を考える

新社会党が全国女性党員・党友交流会を開催

新社会党第23回全国女性党員・党友交流会が11月10日、東京・林野会館で開かれ、オンラインの全国のサテライト会場とあわせ、71人が参加した。

兵庫からもオンラインで11人が参加した。「女性支援法制定の意義と課題」当事者を中心にした支援へ」と題した講演が戒能民江さん（お茶の水女子大学名誉教授）から行われた。「なぜ女性支援法が必要か」の項では、性被害に遭いやすいこと、孤立出産、中絶のトラウマなどは女性特有の問題であること、女性是不安定な就労状況や経済的困難に陥る恐れが大きく、単身女性の3人に1人が貧困状態にあること、コロナ禍で経済的不安から若年女性の自殺が増加したこと、これらは長年の男女不平等に基づく女性の困難の顕在化に過ぎないことなどが述べられた。

売春防止法ができて66年の長きにわたって女性の「保護更生」がうたわれてきたが、人権の視点ではなく、道徳や社会秩序の問題としてしか捉えられてこなかったことに對し、支援法では「人権の尊重」「男女平等」等の視点が明確に規定されたことなどが重要であることとを学んだ。

交流会冒頭の岡崎宏美委員長やかい正康参院選予定候補の決意をこめたあいさつ、さらに全国女性委員会設立の提案を真摯に受け止め、兵庫県本部女性委員会としても運動の前進を目指したい。（森）



12月2日から何が起きるか

厚労省は、1割強の利用率でも、現行健康保険証の発行停止を強行しようとしている。「保険証の期限が切れたら使えなくなる」のだ。ただし、マイナ保険証を持っていない人にはほとんど変化はない。保険証の期限が切れても「資格確認書」が届き、「保険証」として使えるからだ。

問題は、「マイナ保険証」を登録しているが「健康保険証」を使っている場合だ。「健康保険証」の期限が切れると、「マイナ保険証」が「マイナカード」しか使えなくなる。そうなる通院には必ず携帯し、毎回窓口で使用せざるを得なくなる。「窓口で手間取る（他の人に迷惑）ことなどが心配だ。紛失、盗難「マイナ保険証」の期限切れ、更新手続き」も不安だ。

マイナ保険証登録はまだ6割

デジタル庁のホームページをみると、10月25日の発表で、マイナカード保有者は9388万人（75.2%）に達している。これで、厚労省やデジタル庁は強気になっているようだ。しかし、そのうちマイナ保険証登録者は7627万人（81.2%）だ。概算すれば、マイナ保険証登録率はまだ61.1%でしかない。9月のマイナカードは手元に残すことができる。

私の主張

マイナ保険証登録者で健康保険を使っている人の多くは高齢者で、マイナポイント騒動に巻き込まれて登録した人が多いようだ。前述の不安に置かれている。

その不安から逃れる方法は、マイナ保険証の「登録解除」だ。厚労省は、いやいやこの制度を10月末から実施した。面倒だが、市町村の窓口で申請すれば、「資格確認書」に切り替えられ、安心して健康保険証として使えるようになる。受け取ったマイナポイントは返す必要はない。身分証明書としてマイナカードは手元に残すことができる。

マイナ保険証 12月2日からどうなる 当問題を参院選の争点に

「保険組合の事務作業は大変」 一方、「保険組合」は大変な事務作業を押し付けられることになる。マイナ保険証登録者とは「資格情報のお知らせ」非登録者には「資格証明書」を送らなければならない。考えただけでも頭痛が痛くなる。「間違いが許されない」業務だ。その解決策として登場したが、仕分けせずに全員に「資格確認書」を送る方法だ。すでにそうすると決めた自治体もあるようだ。

怒りはこれから噴出する

マイナポイントや医療機関への奨励金という「餌」と企業・健保組合からの圧力などの「鞭」によって、6割強がマイナ保険証登録をした。政府、与党（十国民民主、維新）は強行突破できるとみているようだ。

しかし、複雑な制度と使いにくさで混乱が続き、無駄な仕事が増えるなかで、不満と怒りはこれから噴出するだろう。「マイナ保険証」を国民が理解できず、受け入れていないのだ。

社会のデジタル化は理解を得ながら丁寧に進めるべきものだ。健康保険証の廃止をスト

マイナポイントや医療機関への奨励金という「餌」と企業・健保組合からの圧力などの「鞭」によって、6割強がマイナ保険証登録をした。政府、与党（十国民民主、維新）は強行突破できるとみているようだ。

しかし、複雑な制度と使いにくさで混乱が続き、無駄な仕事が増えるなかで、不満と怒りはこれから噴出するだろう。「マイナ保険証」を国民が理解できず、受け入れていないのだ。

社会のデジタル化は理解を得ながら丁寧に進めるべきものだ。健康保険証の廃止をスト

マイナポイントや医療機関への奨励金という「餌」と企業・健保組合からの圧力などの「鞭」によって、6割強がマイナ保険証登録をした。政府、与党（十国民民主、維新）は強行突破できるとみているようだ。

しかし、複雑な制度と使いにくさで混乱が続き、無駄な仕事が増えるなかで、不満と怒りはこれから噴出するだろう。「マイナ保険証」を国民が理解できず、受け入れていないのだ。

社会のデジタル化は理解を得ながら丁寧に進めるべきものだ。健康保険証の廃止をスト

マイナポイントや医療機関への奨励金という「餌」と企業・健保組合からの圧力などの「鞭」によって、6割強がマイナ保険証登録をした。政府、与党（十国民民主、維新）は強行突破できるとみているようだ。

しかし、複雑な制度と使いにくさで混乱が続き、無駄な仕事が増えるなかで、不満と怒りはこれから噴出するだろう。「マイナ保険証」を国民が理解できず、受け入れていないのだ。

社会のデジタル化は理解を得ながら丁寧に進めるべきものだ。健康保険証の廃止をスト

改憲の動きをウォッチング

改憲勢力を追い詰めるチャンス 改憲・戦争準備反対の輪をさらに広げよう

先の総選挙の結果、改憲に反対する立憲野党が166議席で3分の1を確保したため現状での改憲発議は不可能になった。そのうえ、憲法審査会長に立憲民主党の枝野元代が就く。

石破首相は、総選挙の結果が出た直後の記者会見で「与野党の枠を超え、建設的な議論を行う」（時事）と改憲への強気の決意を語っているが自民主の期限ありきの改憲論議に待たががかる。

第2次石破内閣発足後の記者会見では、厳しさを増す安全保障環境にふれ、軍事力・抑止力の強化について強調しているが、改憲には触れていない（触れられない）。

改憲阻止、「戦争する国」づくり反対の闘いの輪を広げよう。

様変わりする国会運営 総選挙の民意にそった政治実現を

少数与党が推す石破氏が30年ぶりの首相指名の

等に基づく女性の困難の顕在化に過ぎないことなどが述べられた。

売春防止法ができて66年の長きにわたって女性の「保護更生」がうたわれてきたが、人権の視点ではなく、道徳や社会秩序の問題としてしか捉えられてこなかったことに對し、支援法では「人権の尊重」「男女平等」等の視点が明確に規定されたことなどが重要であることとを学んだ。

交流会冒頭の岡崎宏美委員長やかい正康参院選予定候補の決意をこめたあいさつ、さらに全国女性委員会設立の提案を真摯に受け止め、兵庫県本部女性委員会としても運動の前進を目指したい。（森）

別委員長などのポスト配分を巡っては立憲民主党が重要ポストに就いた。

政府予算案の成否を握る予算委員会の委員長ポストに立憲民主党が就く。

選択的夫婦別姓制度を審議する法務委員会や政治資金規正法の改正を審議する政治改革特別委員会の委員長、そして憲法審査会長も立憲民主党である。総選挙の民意に沿った政治を実現する立憲民主党の責任は重い。戦争準備の法律に賛成するようなことがあってはならない。

■日米韓 東シナ海で共同軍事訓練

石破首相は、内閣発足後の記者会見で「中国、ロシアは、我が国周辺における軍事活動を拡大・活発化させている」「北朝鮮も、非常に高い頻度で弾道ミサイルの発射を繰り返している」として、「抑止力と防衛力の抜本的強化が必要」と強調。防衛省によると日米韓3カ国による共同軍事訓練が東シナ海で13日から行われた。「米軍の原子力空母「ジョージ・ワシントン」など3カ国の艦艇7隻のほか、ステルス戦闘機や哨戒機などが参加」さらに衆院の常任・特

マイナポイントや医療機関への奨励金という「餌」と企業・健保組合からの圧力などの「鞭」によって、6割強がマイナ保険証登録をした。政府、与党（十国民民主、維新）は強行突破できるとみているようだ。

しかし、複雑な制度と使いにくさで混乱が続き、無駄な仕事が増えるなかで、不満と怒りはこれから噴出するだろう。「マイナ保険証」を国民が理解できず、受け入れていないのだ。

社会のデジタル化は理解を得ながら丁寧に進めるべきものだ。健康保険証の廃止をスト

労働組合つぶしは許さない

「兵庫の会」が総会で改めて決意

6年前から始まった関西生コン支部への異常な刑事弾圧を契機に結成された「労働組合つぶしを許さない兵庫の会」が11月8日、神戸市内で第5回総会を開いた。会に賛同する67人が参加し、関生弾圧を収録したMBS賞し、講演に学んだ。総会では、共同代表の上原康夫弁護士が「関生支部への刑事弾圧は労働組合法の否定であり、許すことはできない。労働者の権利が守れる社会をつくらう」と主催者あいさつ。その後、経過報告として7・13反弾圧大阪シンポジウムなどの報告や、来年1月1日の大弾圧を許さない元旦行動などの活動方針の提案も行われ、全体の拍手で確認された。



関生支部への大弾圧のドキュメンタリー上映や共同代表の岩佐卓也教授の講演に学んだ総会＝11月8日、神戸市・中央区文化センター

秋季恒例の学習交流会

澤野義一さんが講演

新社会党近畿ブロック協議会

新社会党近畿ブロック協議会(山下慶喜議長)は秋季恒例の近畿ブロック学習交流会を11月9日、大阪市内で開き、約40人が参加した。集会の第一部では、「総選挙後の政治情勢と私たちの課題」選挙後の石破政権の安保政策と改憲問題を中心に」と題した澤野義一さん(大阪経済法科大学名誉教授)の講演に学んだ。澤野さんはまず、今回の総選挙の大きな成果として、政権与党が過半数割れを起こしたこと、改

第9回総会と講演会

訪問介護の危機を再確認

安心と笑顔の社会保障ネットワーク

修大学の岩佐卓也教授が、現在厚労省で見直しを検討されている労働基準法について、最低基準の適用除外を広げ、労働条件の決定は労使自治に委ねていこうとする議論を批

判するとともに、産業界別労働組合のドイツでも労使自治により横断的労働協約からの適用除外で企業間競争が激化し始めていこうとする議論を批(菊地)

神戸市内で第9回総会と「訪問介護が危機！介護の要を守ろう！」をテーマにした講演会を開き、約40人が参加した。

第一部の総会では、菊地憲之代表があいさつで訪問介護の報酬切り下げでさらに厳しい状況に追い込まれている事業所や介護労働者の実態を報告。「再家族化」と「市場化」に抗し、学習・交流を通じて「元氣な」介護保険制度にしていこうと訴えた。



総選挙後の政治情勢と課題について安保と改憲問題を中心に澤野義一さんの講演に学んだ＝11月9日、大阪市

あいまいにすべきではないとの提言もあった。第二部の講演後の討論では、大阪府本部や兵庫県本部から来年1月の茨木市議選で13期目に挑戦する「山下けい選挙」や6月の尼崎市議選に都築徳昭議員の後継者として闘う「いちのせ剛選挙」に向けた取り組みなどがそれぞれに報告され、これらの選挙戦で圧倒的に勝ち抜き仲間を増やすことが参院選・かい正康選挙への大きなステップになると全体で確認した。参院選については、「前

経過報告では、「介護保険改悪に反対する兵庫の会」の構成団体として署名行動に取り組み、厚労省に提出して訴え、神戸

新社会党兵庫県本部は10月30日、原発事故被害

「相双の会」代表・國分富夫さんの報告集會

新社会党兵庫県本部が開催

者「相双の会」代表で賠償請求訴訟の副団長も務める國分富夫さんを福島から招き、「福島は、今……」と題する報告集會を開いた。

以下は、國分さんの報告。[半減期30年のセシウム137]がなくなるまで300年。放射性物質との関いは続いている。生活圏の除染はしても、山林は対象外。立入禁止区域に相当する汚染の25、50倍が避難指示解除区域内の山林にある。雨が降れば放射能は生活圏に流れ出ている。政府は、公衆被ばく限度を国際基準の20倍に引き上げ、帰還・移住者呼び込みに積極的

自治体に向けて介護現場と高齢者の状況を理解させ自治体の責任と役割を果たさせることなどの必要性を提言した。(大倉)

が277もあることが紹介された。そして、今以上の壊滅的な状況になる前に、私たちのやるべきこととして、繋がること、国に向けて発信すること、

「訪問介護が危機！介護の要を守ろう！」をテーマにした講演に学んだ＝10月29日、神戸市兵庫区

集会では、福島からの避難者で原発賠償関西訴訟原告の菅野みずえさんからも報告を受けた。菅野さんは、自身の避難経験から「福島では国民年金だけでも、低い物価、大自然、助け合いで生きていけたが、今は2

なぜこうなってきたの？」
◎参加費800円◎録画視聴(要事前申し込み、当日視聴は無し)の視聴費800円。12月1日までにURLにて申し込み
(https://forms.gle/Fa1M9YgcnFzQg)
◎主催「アイ女性会議ひょうご」090・9862・2095(門永)

■とめよう！原発依存社会への暴走 関電包囲大集会
◎12月8日(日)13時～
◎関西電力本店前(大阪・地下鉄四ツ橋線・肥後橋駅)◎集会后、大阪駅までデモ(16時過ぎ解散)◎主催「老朽原発うごかすな！実行委員会」090・1965・7102



國分富夫さんと共に福島からの避難者の菅野みずえさんからも報告を受けた＝10月30日、神戸市

(彩)

おんのだ目

私は、コンビニにおおす弁当を作る工場パート職員として夜間働いておりました。この会社は、パート職員がいなければ成り立ちません！しかし、正規職員との賃金・労働条件の格差は大きく、格差を縮めるために団体交渉で少しづつではありますが、改善してきました。

そして今年1月、27年余り勤めた会社をパートではありますが、定年退職いたしました。いえ、正確にはそのはずでした！と申しますのも、後日郵送されてきた離職票には「定年」ではなく「自己都合」にチェックが入られていたのです。パートといえども「定年退職した」という誇りと達成感に浸っていた私としましては納得がいかず、ハローワークの担当者に「実は定年退職です」と告げました。担当者は怪訝な様子でしたが、退職までの経緯を尋ね、結果、「申立書」を書くよう進言してくださり、それを書いて帰宅しました。本来なら、この1回で済んでいたものをその後2回も足を運ばなければなりませんでした。

団体交渉で、会社になぜ「定年」ではない離職票だったのかを追及すると、最初の回答は「ハローワークがチェックした」と驚愕の答えが返ってきたり、社労士のミス



とか言い訳ばかりで、会社の非を認めようとしませんでした。

よく調べると就業規則に再雇用年限は68歳と記され、実際の70歳定年とは齟齬が生じており、長年改訂されずに放置されていたのです。その怠慢を追及しても、会社管轄のハローワークでは認められていたと苦しい言い訳に徹しておりましたが、ユニオンの委員長、書記長はじめ皆様方の鋭い追及によって、この度ようやく社長名での謝罪文をもらうことになりました。その謝罪文も1回目は木で鼻をくくったような心こもっていない文章で書き直しとなったのですが……。

今回の問題は、会社が就業規則をもっと早く70歳に改訂していれば何の支障もなかったのです。在職時から「この会社はパート従業員に敬意、感謝の気持ちがない」とは感じていましたが、退職によって痛感させられることになるのは……！

このようなブラック企業に27年も籍を置いていたことが虚しくもありますが、後に続く人々のために就業規則の改訂は、皆さまの応援を得て実現したいと存じます。

また、新組合員の闘いが続いていますので、会長として「ユニオンあしや」に残り、一緒に頑張っていきたいと思っています。

(倉屋市 M.S)

パートへの敬意・感謝ない会社

『ゾンビ家制度』軍拡と社会保障制度解体の罠

竹信三恵子・杉浦ひとみ・杉原浩司・雨宮処凛・古今亭菊千代著／あけび書房／1500円＋税

ゾンビ家制度。このタイトルを見て、多くの人は「何だ？」と思われるに違いない。家制度を問題視してきたのは、ほとんどが女性で、それも日常の暮らしと直結した喫緊の課題とされることは多くなかった。しかし、この本のタイトルには続きがある。軍拡と社会保障制度解体の「罠」というのである。

いこの安全確保確立に向けて非正規社会からの脱却をめざそうと、2021年、様々な分野の人々が集い始めた「共同テーブル」は、新しい戦前にさせないための取り組みとして、連続シンポジウムを開催してきた。その第5回、2023年8月の「軍拡と『ゾンビ家制度』の罠」で語られた内容をもとに、

本棚

「家制度」は戦争社会支える思想の根幹

より広く知ってもらおう、考えてもらおうと書籍化されたのが本書である。竹信三恵子さんははじめ5人の執筆者が、それぞれ関わる分野から見える「罠」や、罠に落とされてもがく人々を描き出している。

恵子さん執筆の章は、「戦争は始まる前に人を殺す」という衝撃的なタイトルとなっており、予算のバケツに穴が開いた軍事費の異常な拡大を支えるのが、圧倒的に女性たちが担われることになる家事、保育、教育、介護、看護等の公共サービスの削減である。つまり女性たちが担う無償労働なのだ指摘する。さらにそれは、女性の問題にとどまらず「男が家族を養え」という重圧にもなる。うまくい

けないことは全て自己責任だと思込まされてきた社会で、国家が作る、絵に描いたようなモデル家族を単位とした社会保障政策は破綻しているにもかかわらずだ。

産業革命以降の産業構造の変化と景気変動の激化で、19世紀後半から個人の責任ではない格差と貧困が深まり、ついには悲惨な戦争につながったとの反省から、国民の生活保障を政府責任として引き受ける国家、すなわち

福祉国家と呼ばれる「大きな政府」が戦後世界の目指す姿とされてきたが、新自由主義政策は、その動きを封じ込める流れを加速させた。

日本社会における「失われた30年」はその過程を見せつけ、貧困の深まりは加速している。ニュースで流れる「闇バイト」で実行される強盗・殺人、どこにも居場所を持たずにトコロ、グリ下などに集まる若年者の姿は、

働いても明日が見えない非正規・低賃金労働者を支え切れない社会そのものと言えのではないか。戦争に加担したことを反省して、再び同じ道を歩まない誕生し活動してきたはずの労働運動は、いつの間にか、自分たちが良ければそれでよし、の運動になっていないか。本書を読むほどに考えさせられる。

武器取引反対ネットワーク代表の杉原さんは、日本の軍需企業(死の商人)の実態を、雨宮処凛さんは、反貧困ネットワークの活動から一人の命を財源で語るの叫びを、古今亭菊千代さんは戦前の優性思想を語る。今こそ読むべき本である。(岡崎宏美)

本心

原作は平野啓一郎の「本心。社会的な問題にリアルなコメントを寄せる私の好きな作家の一人である。ある男」が近年映画化されている。小説の「本心」は、2040年という近未来の設定だったが、AIの技術進歩が目覚ましく、映画では2025年という現在と地続きの時間が舞台と

なっている。

この物語の肝は、亡くなった人をAIで蘇らせる設定にある。生前のままさまざまなデータをAIに読み込ませ、本人のバーチャルフィギュアを作るというものだ。友人など周りの人間からの情報を加えたり、対面している家族が本人ならこうするとアドバイスを与えたりする作業が繰り返されて、バーチャルフィギュアが本物の本人に近づいていくのだ。小説では、主人公とバーチャルフィギュアである母親とのそのあたるやり取りが細かく描写されていて面白いのだが、映画ではかなり端折られているので、いま



ひとつ現実感が持たない。映画の中で近未来のリアルな恐ろしさを感じた

のは、主人公の朔也(池松壮亮)のリアルアバターという職業である。カメラの着いたゴーグルをつけ、依頼主の代わりに命じられた行動をする仕事だ。依頼主は、居ながらにしてリアルアバターの目を通してバーチャルな体験ができるのだ。病床にある老人(田中泯)の、最後に海を見たという依頼を受け、朔也は指定された海に行き夕日が落ちるまで依頼主の目としてそこに佇む。そして老人は家族に見守られながら医師の手により「自由死」という死を選んでいくのだ。リアルアバターとして

の、秋子の若い友人であるという彩花(三吉彩花)が現れ、朔也と彼女との同居生活が始まる。映画の後半はこの2人の関係が中心となって進んでいく。「本心」という題名は、母親である秋子だけでなく、さまざまな登場人物の心の奥にある本心がテーマになっていることを表しているのだと思われる。この作品には、現代のさまざまな社会問題が散りばめられていて、どこに焦点を当ててるのか絞り切れない感があるが、AI技術が進んだ近い将来の物語として見る価値のある作品だと思う。(W)

シネマランド

AI技術発達の功罪を描くミステリー

監督 石井裕也 / 2024年 / 日本 / 122分